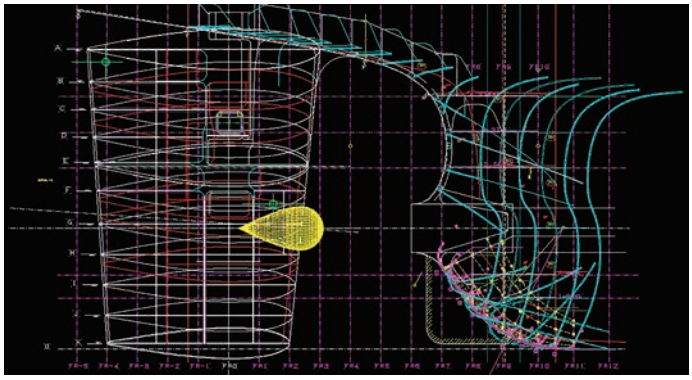
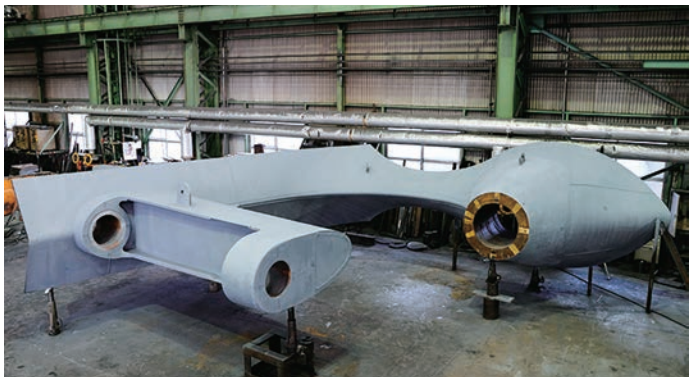
株式会社村上鉄工所

国際認証を取得した設備と高度な技術力で海を導く
世界の海事産業をリードする今治発の舵メーカー

想定分野　基礎製造（浮体式）❯ 浮体構造物





製缶・機械加工から船級検査までの一貫体制で、舵製造の最前線を走る

船舶の舵メーカーとして小型船から超大型コンテナ船の商船をはじめ、海上保安庁船や護衛艦においても搭載されるなど、高度な技術と生産体制を構築することで、世界の海で船舶の安全航行の一翼を担う。材料、製缶、機械加工、仕上、船級検査の一貫生産が可能。国際的な認証機関・船級協会である BV、DNVの工場承認を取得しており、欧州企業をはじめオフショア船の設計基準に即した製造能力を有する。DNVは船級協会に加えオイル・ガス分野のリスクマネジメント、風力・電力送配電分野のエキスパートを主とする世界的なサービス・プロバイダーであり、その工場承認を持っている企業は国内でも数少ない。さらに溶接においても日本海事協会（NK）ほか複数の承認を得ており、高い技術力を誇る。**洋上風力発電の分野では、作業船やケーブル敷設船などの舵構造、船尾骨材、艤装品での対応を想定する**。大島工場には専用岸壁があり、大型製造品の海上輸送も可能。

使用材料：普通鋼、高張力鋼（ハイテン鋼）、合金鋼、製造サイズ：舵15m×9m×2m、最大230t、工場承認：BV、DNV、溶接法承認：NK、LRS、ABS、KR、CR

採用実績・施工例

世界最大級のコンテナ船の舵を製作

2023年、24000個積みコンテナ船全6隻の舵を製作。舵の製造サイズは13600㎜×9000㎜、重さ160tでシャフトは37t。ハイテン鋼と鋳鋼のパーツを組み合わせたハイブリッドな舵となる。大島工場で製作し、海上輸送で造船所へ納品。

国内で唯一、海上自衛隊大型艦艇の舵を任される

出典：海上自衛隊ホームページ

日本の舵メーカーで、海上自衛隊大型艦艇の舵を製作しているのは同社だけ。主に護衛艦や哨戒艦の舵構造を請け負っている。これまでの大型艦艇の実績はヘリコプター搭載型護衛艦「いずも」、「ひゅうが」、「かが」、「いせ」など6隻。さらに2025年以降の製作も決まっている。

主要設備機械

- CNC横中ぐり盤フロアータイプ：X6000×Y3500×Z750×W900、X8000×Y3500×Z750×W900／2台
- CNC横中ぐり盤テーブルタイプ：X3000、Y2300、Z1600、W700ほか／3台
- CNC旋盤：5台 ●CNCプラズマ切断機：MAX60㎜
- 油圧プレス：1500t、W6500㎜ほか／5台
- 専用岸壁（大島工場）：長さ75m、設計水深7m

会社情報

事業内容／船舶の舵や船尾骨材の製造
所在地／〒799-2206 愛媛県今治市大西町脇甲733-3
設立／1977年4月　資本金／2,000万円　従業員／56名（2024年11月現在）
代表者／代表取締役 村上 雅浩　TEL／0898-53-4108
事務所／愛媛県今治市、西条市
首都圏担当／営業課 大垣 和志　TEL／0898-53-4108
E-mail／oogaki@murakami-iw.co.jp
URL／https://murakami-iw.com/profile/outline.html